

感染制御室

1. スタッフ（2023年4月1日現在）

室長（准教授）	福地 貴彦 （総合診療科・感染症専門医）専任
室長補佐	水上由美子 （感染管理認定看護師）専従
看護師	阿久津充生 （感染管理特定認定看護師）専従
臨床検査部主任臨床検査技師	志野 真錦 （細菌検査担当）専任
薬剤部主任薬剤師	立石 直人 （抗菌化学療法認定薬剤師）専任
薬剤部薬剤師	熊倉 悠人 （抗菌化学療法認定薬剤師）専任
事務	1名（派遣職員）

2. 感染制御室の特徴

感染制御とは、院内における感染症を未然に防ぐこと、早期に発見することであり、さらに適切に治療や感染対策を実施することで感染拡大を防止することである。

感染制御医師（ICD）、感染管理認定看護師（CNIC）、薬剤師、細菌検査技師、事務、さらに感染制御チーム（ICT）として10人を超える医師、リンクドクター、リンクナース、リンクスタッフとともに、感染症に関する情報収集、講演会・指導・啓蒙活動、サーベイランスなどを行っている。

3. 2023年度活動目標と評価

- 1) 擦式アルコール製剤の使用量が私立医科大学協議会の中央値を超えるように、職員教育を行う。
 - ・擦式アルコール製剤の使用量は

17.4L/1,000患者であった。介入により使用量が増加する部署も見られたが、目標値に達しなかった。手指衛生遵守状況の確認を強化し、改善を図る。

- 2) ASTの介入症例を増加し、広域抗菌薬の適正使用を推進する。
 - ・AST支援症例は昨年度より増加したが、院内のカルバペネム系使用量は増加傾向であった。継続的に適正使用を支援していく必要がある。
- 3) 地域連携カンファレンスを通じて連携施設の感染対策向上に協力する。
 - 1) 地域連携カンファレンスは予定通り終了した。加算1取得施設と共同開催とし、J-SIPHEのデータを用いて有効なカンファレンスが行えた。

4. 実績

- 1) 感染対策委員会：毎月開催
- 2) ICT巡回：年50回実施
- 3) ASTラウンド：年84回実施
- 4) 講演会・勉強会
 - (1) 講演会・研修会
 - ①講演会：2013年度より年1回以上の参加が義務付けられた。当日の定員を150名とし、Zoomによる配信、後日 totara にて e-learning、DVD 上映会・貸し出しを実施した。
 - ・7月13日
講師：賀来満夫 特任教授（東北医科大学薬科大学医学部感染症学教室）
テーマ：5類移行に伴う COVID-19の

院内感染対策

- ・ 12月14日
講 師：朝野和典 理事長（地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所）
テーマ：結核の早期発見と接触者検診について
- ・ 3月6日
講 師：ICT・AST メンバー
テーマ：ICT・AST が注目した警鐘的事例の報告
- ② AST講演会：当日の定員を150名とし、Zoomによる配信、後日totaraにてe-learning、DVDの貸し出しを実施した。
- ・ 11月30日
講 師：岩田健太郎先生（神戸大学病院感染症内科教授）
テーマ：抗菌薬適正使用について
- ③ e-learning研修会：2016年度よりe-learningが実施され各テーマの合格が義務付けられた。
 - ・ 第一部：標準予防策 個人防護具編
 - ・ 第二部：標準予防策 環境整備・清掃・感染性廃棄物
- ④委託職員向け研修会
 - ・ 防護具の活用と感染防止（合計4回開催）
 - ・ 感染性がある物とその処理方法～感染性廃棄物や吐物の処理方法～（合計4回開催）
- (2) 新採用者オリエンテーション
新採用者オリエンテーションを実施
- (3) 勉強会
感染管理認定看護師・ICTメンバーによる勉強会を6回開催
- 5) リンクドクター会・リンクナース会・リンクスタッフ会活動
 - ・ リンクドクター・リンクスタッフ合同会議を1回開催。また、各部署で擦式アルコール製剤の使用量について目標を立ててもらい、結果をフィードバックした。
 - ・ リンクスタッフと認定看護師の環境ラウンドを5回行った。
 - ・ リンクナース会：4回開催
 - ・ リンクナースと認定看護師の巡回を24回実施し、感染管理の改善がみられた。
 - ・ 手指衛生の優秀部門について、表彰を行った。病棟部門：4B病棟、集中治療部門：EICU、その他看護部門：外来2オンコロジーセンター、医療スタッフ部門：中央放射線部。
- 6) 感染症レポートは毎週作成し、COSMOS-webに掲載できた。
- 7) 抗菌薬使用状況について定期的に委員会で報告した。
- 8) 厚生労働省の院内感染対策サーベイランス（JANIS）の参加
 - ・ 検査部門、ICU部門、SSI部門、NICU部門に参加
- 9) 感染対策連携共通プラットフォーム（J-SIPHE）の参加
 - ・ AST関連・感染症診療情報、AMU情報、ICT関連情報、医療器具関連感染症情報、SSI情報、微生物関連情報に参加
- 10) 各種サーベイランスの実施
 - ・ 3病棟で中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランスを実施
 - ・ ICU・CCU、EICUで人工呼吸器関連肺炎サーベイランスを実施
 - ・ 心臓血管外科、耳鼻咽喉・頭頸部外

科、脳神経外科、一般・消化器外科、呼吸器外科で SSI サーベイランスを実施

- ・耐性菌その他、院内感染上問題となる微生物サーベイランスの実施

11) 地域医療機関との感染対策カンファレンスの開催

- ・さいたま北部医療センター、博仁会共済病院、ヘブロン会大宮中央総合病院、大宮双愛病院、外来加算連携病院、さいたま市保健所、大宮医師会と感染対策地域連携カンファレンスを4回開催した。また、第3回については、新興感染症の発生等を想定したゾーニング机上訓練を行った。
- ・指導強化加算取得のため、博仁会共済病院、ヘブロン会大宮中央総合病院、さいたま北部医療センター、大宮双愛病院を巡回し、改善点について指摘した。

12) さいたま市内加算1施設カンファレンスの開催

- ・さいたま市民医療センター、さいたま市立病院、さいたま赤十字病院、埼玉メディカルセンター、彩の国東大宮メディカルセンター、埼玉県小児医療センターと2回カンファレンスを実施した。
- ・感染対策向上加算1取得のため、彩の国東大宮メディカルセンターと相互ラウンドを実施した。

13) 私立医科大学感染対策協議会への参加

- ・関西医科大学総合医療センターと私立医科大学感染対策協議会相互ラウンド(Webにて書類審査)を実施した。

5. 2024年度活動目標

- 1) 擦式アルコール製剤の使用量増加を目指し、病棟における直接観察の評価を行う。
- 2) 抗菌薬適正使用を推進し、耐性菌の抑制のためにカルバペネム系薬の適正使用を推進する。
- 3) 地域における感染対策の向上のために、医療機関や市民へ情報提供を行う。